

第228回

柏崎しんきん地区内経済指標

(平成27年3月)

 **柏崎しんきん**

(平成8年4月 創刊)

1. 人口・世帯数動向

【単位：人、世帯、％】

地区別	人口			世帯		
	人数	前年同月比	前月比	世帯数	前年同月比	前月比
中心部	9,481	-0.28	0.00	4,173	1.33	0.21
東部地区	14,230	0.33	-0.15	5,778	1.54	0.34
西部地区	10,347	-0.24	-0.18	4,047	1.02	0.09
駅南地区	6,295	-0.47	-0.33	2,802	1.11	0.07
半田地区	3,703	0.10	0.18	1,405	0.00	0.78
横山地区	5,454	-1.83	-0.61	1,941	0.51	-0.25
茨目・田尻地区	7,084	1.31	-0.36	2,526	2.35	-0.31
荒浜地区	4,891	-2.08	-0.36	1,996	-0.44	-0.10
その他地区	18,884	-2.53	-0.48	7,061	-1.05	-0.11
西山町地区	5,875	-1.01	-0.47	2,118	0.52	-0.04
高柳町地区	1,613	-3.23	-0.24	770	-2.16	-0.25
柏崎市計	87,857	-0.84	-0.29	34,617	0.56	0.05
刈羽村	4,764	-0.54	-0.25	1,568	-0.06	0.06
小国地区（長岡市）	5,713	-2.67	-0.43	2,112	-0.14	0.04
出雲崎町	4,705	-2.62	-0.25	1,763	-0.56	0.17
合計	103,039	-1.01	-0.29	40,060	0.44	0.06

（資料出所：柏崎市、各市町村）

地域全体の人口動向は、前年同月比においては、柏崎市で751人・0.84％、刈羽村で26人・0.54％、小国地区（長岡市）で157人・2.67％、出雲崎町で127人・2.62％と減少したことから、全体では1,061人・1.01％の減少となる。前月比では、柏崎市で257人・0.29％、刈羽村で12人・0.25％、小国地区で25人・0.43％、出雲崎町で12人・0.25％減少したことから、全体では306人・0.29％の減少となる。

世帯数は、前年同月比で、柏崎市で193世帯・0.56％増加しているが、刈羽村で1世帯・0.06％、小国地区で3世帯・0.14％、出雲崎町で10世帯・0.56％減少したことから、全体では179世帯・0.44％の増加に留まった。また、前月比では、柏崎市で20世帯・0.05％、刈羽村で1世帯・0.06％、小国地区で1世帯・0.04％、出雲崎町で3世帯・0.17％増加したことにより、全体では25世帯・0.06％の増加となっている。

2. 労働需給状況

【単位：人、倍、％】

	柏崎管内	新潟県	前年同月比		前月比	
			柏崎管内	新潟県	柏崎管内	新潟県
月間有効求人	1,777		3.37		3.61	
月間有効求職者	1,673		-6.43		9.06	
月間有効求人倍率	1.06	1.20	0.10*	0.06*	-0.06*	-0.04*

*印は差し引き計算

（資料出所：柏崎公共職業安定所）

景気の同時指標である柏崎職業安定所管内の労働需給状況は、有効求人・求職状況（パートを含む全数）では、月間有効求人数が1,777人と前年同月比で58人・3.37％増加している。また、前月比においても62人・3.61％増加している。

月間有効求職者数は、1,673人と前年同月比で115人・6.43％減少しているが、前月比では139人・9.06％増加している。

以上の結果、月間有効求人倍率は1.06倍と前年同月比で0.1ポイント上回っているが、前月比では0.06ポイント下回っている。なお、県平均1.20倍と比べると0.04ポイント下回っている。

また、新規求人・求職状況（パートを含む全数）については、月間新規求人数が720人と前年同月比で30人・4.0ポイント減少、月間新規求職者数が486人と前年同月比で3人・0.6ポイント増加した結果、月間新規求人倍率は1.48倍となり、前年同月の1.55倍に比べて0.07ポイント下回っている。

3. 建築確認申請

【単位：件】

	当月の申請			平成26年度累計	
	件数	前年同月比	前月比	件数	前年同月比
一般住宅（併用）	41	-1	30	296	-104
共同住宅	1	0	1	17	3
事務所	0	0	-3	15	6
作業所・工場	1	-1	1	6	0
営業建物	3	2	2	25	3
公共建物	0	0	0	2	-1
その他	7	-1	4	93	-20
合計	53	-1	35	454	-113

(資料出所： 柏崎市建築住宅課)

建築確認申請の状況は、当月の申請合計が53件と前年同月比で1件の減少となる。工種別内訳の増減は、営業建物で2件増加し、一般住宅・作業所・その他で各1件減少している。

なお、工種全体の申請内容は、新築が43件となっており、また一般住宅(併用)41件における市内・市外施工業者別の確認申請の状況では、市内施工業者が14件(新築11件・改築3件)、市外施工業者が27件(新築24件・改築3件)となっている。

4. 電力使用量

【単位：口、kwh、%】

	契約口数			使用量		
	口数	前年同月比	前月比	使用量	前年同月比	前月比
電灯	66,550	1.05	0.18	24,115	-4.02	-1.95
電力	9,754	-2.29	-0.82	39,596	0.54	-0.80

(資料出所： 東北電力(株)柏崎営業所)

〔 電灯は、家庭・道路照明・一般器機等に100Vの電源。
電力は、工場・スーパー・モーター動力等主に200Vの電源。 〕

契約口数は、電灯が前年同月比で696口・1.05%の増加。前月比で121口・0.18%増加した。一方、電力においては、前年同月比で229口・2.29%と減少し、前月比でも81件・0.82%減少した。

使用量においては、電灯が前年同月比で1,011kwh・4.02%と減少し、前月比でも481kwh・1.95%の減少となっている。電力においては、前年同月比で216kwh・0.54%増加したものの、前月比においては、320kwh・0.80%の減少となった。

5. ガス供給量・水道給水量

【単位：m³、%】

	ガス供給量			水道給水量		
	供給量	前年同月比	前月比	給水量	前年同月比	前月比
家庭用	1,472,214	-4.59	-8.74	606,045	-4.37	-5.57
営業用	290,000	-1.38	-10.35	102,330	-9.34	-1.52
工業用	893,078	4.81	1.81	109,521	-0.68	7.66
官公学校用	594,028	-6.44	-15.64	71,631	-5.54	4.07
その他				120	233.33	400.00
合計	3,249,320	-2.25	-7.63	889,647	-4.62	-2.91

(資料出所： 柏崎市ガス水道局)

柏崎地域でのガス供給量は、用途合計で前年同月比74,906m³・2.25%の減少。前月比でも268,714m³・7.63%の減少となっている。用途別内訳を見ると、前年同月比・前月比ともに工業用のみ増加している。

一方、水道給水量は、前年同月比43,127m³・4.62%の減少、前月比でも、26,686m³・2.91%の減少となっている。用途別内訳は、前年同月比では全ての用途で減少し、前月比では工業用・官公学校用で増加している。

6. 北陸自動車道利用状況

【単位：台、％】

	入 口			出 口		
	台 数	前年同月比	前 月 比	台 数	前年同月比	前 月 比
柏 崎	78,799	-9.20	22.41	82,008	-8.54	18.87
西 山	36,413	-7.05	26.82	33,212	-6.99	29.44
米 山	16,616	-5.79	32.92	15,262	-6.54	27.82
合 計	131,828	-8.19	24.85	130,482	-7.92	22.42

(資料出所：柏崎市産業振興部観光交流課)

柏崎地域の高速道路出入口での交通量は、入口が全体で前年同月比11,771台・8.19%と減少したものの、前月比では26,245台・24.85%の増加となっている。

出口においても同様に、全体で前年同月比11,229台・7.92%と減少したものの、前月比では23,900台・22.42%の増加となっている。

インター別の前年同月比および前月比を見ると、入口・出口共に全てのインターで前年同月比では減少しているものの、前月比では増加している。

7. 市内民間金融機関預金・貸出金残高

【単位：百万円、％】

	預 金			貸 出 金		
	残 高	前年同月比	前 月 比	残 高	前年同月比	前 月 比
2 月 末	384,444	2.45	1.66	147,910	1.75	1.31
2 月 平 均	378,109	2.36	0.72	146,890	1.91	1.29

預金は、3月末残高が前年同月比9,222百万円・2.45%の増加。前月比においても、6,288百万円・1.66%の増加となっている。平均残高では、前年同月比8,741百万円・2.36%の増加。前月比においても、2,723百万円・0.72%の増加となっている。

一方、貸出金は、3月末残高が前年同月比2,555百万円・1.75%の増加、前月比においても、1,916百万円・1.31%の増加となっている。平均残高においては、前年同月比2,760百万円・1.91%の増加となり、前月比でも1,883百万円・1.29%の増加となっている。

8. 手形交換高

【単位：枚、百万円、％】

	枚数/金額	前年同月比	前 月 比
交 換 枚 数	27,267	8.72	25.31
交 換 金 額	25,124	18.45	45.08
不 渡 り 手 形 枚 数	17	240.00	0.00
不 渡 り 手 形 金 額	33	1,889.16	0.00

(資料出所：長岡手形交換所)

当金庫が参加している長岡手形交換所における手形交換高は、交換枚数が前年同月比で2,188枚・8.72%と増加、前月比においても、5,509枚・25.31%と増加している。また、交換金額においても同様に、前年同月比3,914百万円・18.45%と増加し、前月比でも7,807百万円・45.08%と増加している。なお、不渡手形は17件・33百万円発生している。

法的整理(負債1,000万円以上)による県内企業倒産は、4件(前年同月9件・前月8件)、負債総額2.3億円(同8.9億円・同22億円)となっている。地区別では下越地区で4件(新潟市2件、燕市・佐渡市各1件)発生している。業種別では小売業で3件、卸売業で1件ずつ発生しており、倒産原因の状況はいずれも販売不振となっている。

消費増税前の駆け込み需要に対する反動減が懸念材料となっていたものの、2014年度の倒産は低水準に抑えられる結果となった。一方、各企業の業績に目を向けてみると、収益性の改善が進んでいない企業も散見される。また、地域・業界・個別企業間の格差といった構造的な問題は依然として残っており、倒産は増加に転じるリスクを含んでいる。